

2025年度

第39回 修士論文発表会
第3回 特定の課題についての研究成果発表会

開催日：2026年1月24日（土） 会場：L301

1) 開 会 9:25
2) 論 文 発 表 9:30

【特定の課題についての研究成果】

セッション	座長	発表時刻	演題番号	発 表 演 題	発 表 者	指導教員
1	三島	9:30	1	大学・高等学校バスケットボールにおける外国人アスリートを抱えるチームの課題と教育のあり方に関する研究	中野真吾	神崎 浩
		9:45		入れ替えなど 15分		

【修士論文発表会】

セッション	座長	発表時刻	演題番号	発 表 演 題	発 表 者	指導教員
1	小菅	10:00	1	日本代表監督の心理的成長過程の探究 ー東京・パリ連続金メダル獲得事例を通じてー	中澤吉裕	土屋裕睦
		10:15	2	クルーボートローイング選手における心理的安全性とパフォーマンスの関連 ー 集団凝集性と集合的効力感の媒介効果 ー	部谷祐紀	土屋裕睦
		10:30	3	大学ラグロス競技者におけるコーチとの関係性と集団凝集性の関連 ー社会的アイデンティティの媒介効果ー	黒木彩未	土屋裕睦
		10:45		入れ替えなど 15分		
2	手塚	11:00	4	短期間の太極導引八段錦トレーニングがマインドフルネス特性に及ぼす影響 ー大学生を対象とした実践的検討ー	潘 政親	菅生貴之
		11:15	5	コーチと選手の関係性とコミュニケーションがパフォーマンスに及ぼす影響 ー二者間相互作用の縦断的検討ー	中村悠耶	小菅 萌
		11:30	6	中学生アスリートのリーダーとしての成長 ー エージェンシーに着目して ー	西岡将生	小菅 萌
		11:45		入れ替えなど 15分		
3	下河内	12:00	7	スクワットトレーニングがSitting Volleyball女子選手のムーブメントに及ぼす効果	有方大介	植木章三
		12:15	8	知的障害者の特性に応じた投動作指導プログラムの検討 ー効果的な教材提示による動作改善のプロセスに着目してー	湯浅可絃	植木章三
		12:30	9	若年男性アスリートにおける異なるレジスタンストレーニングがジャンプパフォーマンスに及ぼす影響-Resistance Primingに着目して-	伊藤隆太	三島隆章
		12:45		昼 食 休 憩 (12:45~13:30)		
4	高本	13:30	10	定時制高等学校の体育授業における協同学習モデルの効果	五十川利心	浜上洋平
		13:45	11	サッカーのインターセプトに関する現象学的研究 ー ANTICIP0発生に関する身体知促発指導を通じて ー	三橋真奈	曾根純也
		14:00	12	コンタクト・インプロヴィゼーションにおけるAttunement現象の形成プロセスについて ー 経験者を対象とした質的調査を通して ー	劉晶	白井麻子
		14:15		入れ替えなど 15分		
5	藤原	14:30	13	バレーボールの自チームの攻撃時助走経路が相手ブロックに与える影響	宮内健嗣	宮地弘太郎
		14:45	14	男子200mバタフライ専門選手におけるレースパターンの類型化と100mバタフライパフォーマンスとの関連	垣内洸星	尾関一将
		15:00	15	ハンドバスターの初回利用が競泳パフォーマンスに及ぼす影響 ー 性差の比較 ー	市川舜明	尾関一将
		15:15	16	前十字靱帯再建術後のアスリートにおける大腿四頭筋の活動後パフォーマンス増強の特徴	吉岡芳泰	下河内洋平
		15:30		入れ替えなど 15分		
6	小林	15:45	17	小学校水泳授業の指導形態の違いと児童の水泳授業の楽しさとの関係性	虞 聡	中山 健
		16:00	18	陸上競技観戦者の観戦行動 ー制約効果緩和モデルを適用してー	黒田翔貴	富山浩三
		16:15	19	兵庫県自然学校における参加児童の体験が「生きる力」へ及ぼす影響	内藤照久	伊原久美子

3) 閉 会 16:30

【発表の注意】

- 質疑応答終了時間（3回）にベルで合図を行います。
- ◎発表時には、発表終了時間1分前予鈴（1回）、発表終了時間（2回）
- ◎発表時間は10分、質疑応答は5分です。